

主催

名古屋市

なごや

学生社会課題解決

プログラム

エントリー受付期間

— 2025 —

8/4(月)正午まで!

募集対象

名古屋市内及び近郊にキャンパスを置く大学・大学院・短期大学・専修学校の専門課程の学生

昨年度の活動の様子は
こちらから! >>



一緒に
課題解決に
取り組んでくれる
学生募集中!

募集定員30名程度

※応募者多数の場合は選考により決定します。

応募方法

以下のURLもしくは2次元コードから参加申込

<https://forms.office.com/r/cTYwQxx69Y>

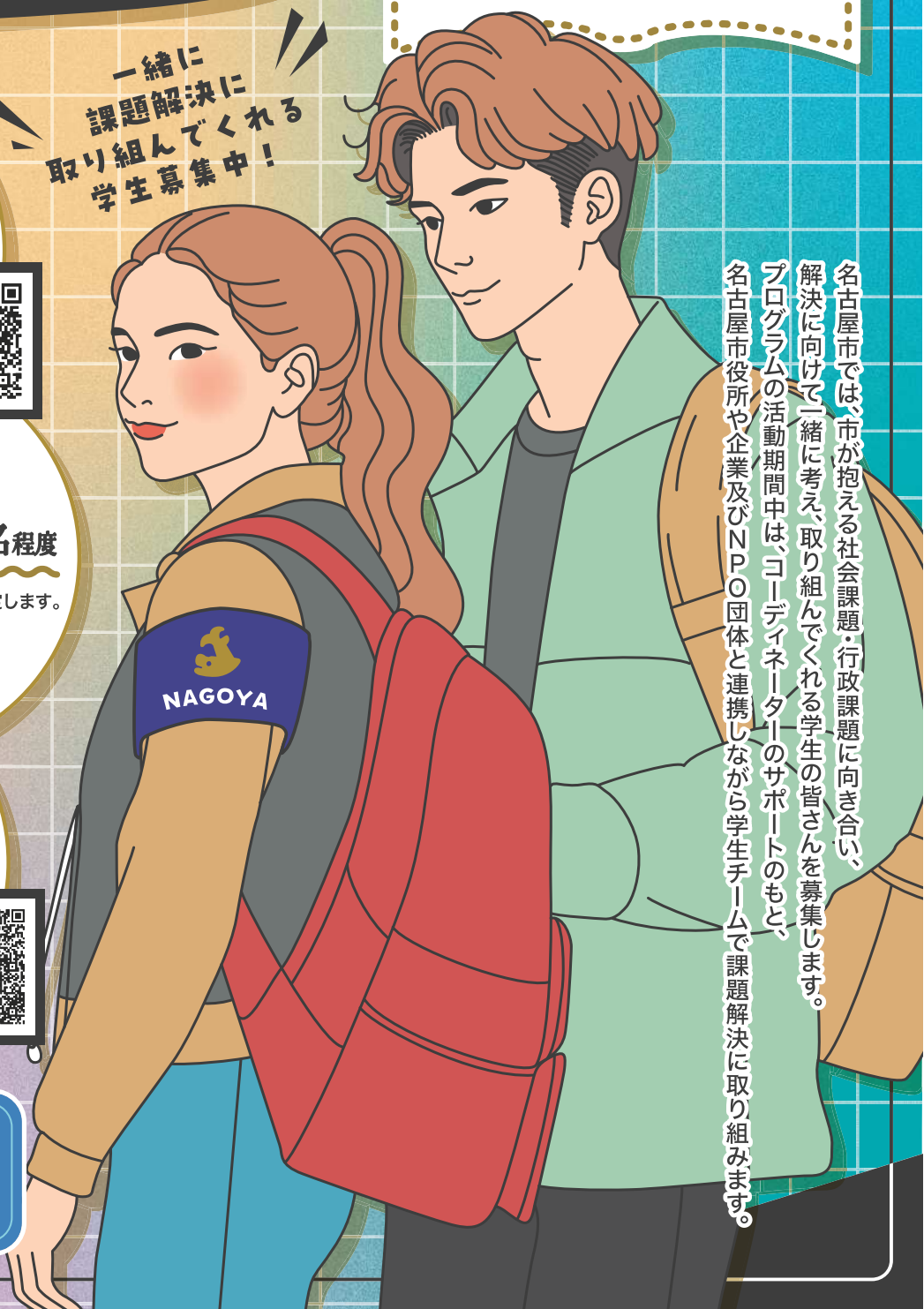
詳細は
こちらから! >>



参加無料

プログラム参加者には
15,000円(交通費相当)の
マナカチャージ券を支給

名古屋市では、市が抱える社会課題・行政課題に向き合い、解決に向けて一緒に考え、取り組んでくれる学生の皆さんを募集します。
プログラムの活動期間中は、コーディネート者のサポートのもと、名古屋市役所や企業及びNPO団体と連携しながら学生チームで課題解決に取り組みます。



MISSION

アイデア求む! - 名古屋の4つの課題 -

プログラムでは、チームに分かれて以下の4つの課題解決に取り組めます。

MISSION 1

**平和の大切さを
みんなで考えられる
名古屋を目指して**



名古屋空襲により市街地に大きな被害が及んだ5月14日を「なごや平和の日」と定めているのは知っているだろうか？戦後80年が経過し、戦争を知らない若い世代が大半の中、改めて戦争・平和について考える機会が求められる。どうしたら若い世代が平和について考えてくれるだろうか。

MISSION 2

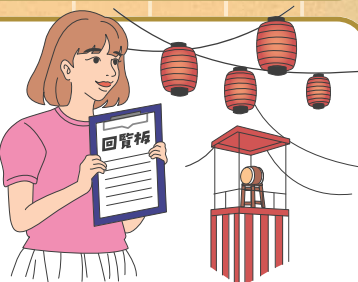
**魅力発信!
障害福祉の仕事**



障害福祉の仕事というとどんなイメージをもっているだろうか？一言に障害福祉の仕事といってもその種類は様々。障害福祉に携わる担い手不足の今、障害福祉の仕事内容ややりがいを知ってもらい、障害福祉の仕事に就きたい人をもっと増やすためにはどうしたら良いだろうか。

MISSION 3

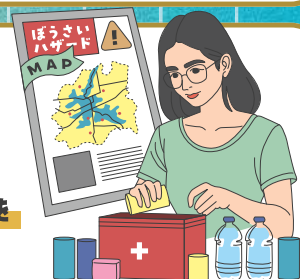
**参加したくなる
地域活動を目指して**



近所づきあいは、災害時の助け合いにもつながり、地元のお祭りへの運営の参加は普段の友達関係ではつくれない交友関係も作れる。町内会を始めとしたそんな地域活動に、みんなが参加したくなるにはどうしたらよいだろうか。新しいアイデアを求む!

MISSION 4

**日本一地震に強い
大学生のまち「なごや」を
目指して**



地域の防災訓練に参加しているだろうか？災害が発生した時の避難場所や非常持出品の準備はできているだろうか？そもそも大学生に必要な「防災」とは？南海トラフ地震に向けて大学生に必要な内容や方法を考えて、日本一地震に強い大学生のまちを目指そう。



こんな方におすすめ!

プログラムを通して、皆さんの**学び**を応援します

- ☒ 行政や企業、NPO団体の方々と関わりたい!
- ☒ なごやを深く知りたい!
- ☒ 課題解決のプロセスを学びたい!
- ☒ 他大学の学生と関わりたい!

スケジュール

8月4日(月)正午 募集締め切り

8月8日(金) 選考結果通知

活動期間

必須 8月25日(月)PM プレキックオフ

必須 8月27日(水)PM キックオフ

必須 10月11日(土)PM 中間報告会

必須 12月20日(土)PM 成果報告会

2026年2月中旬頃 交流会

その他定期的なチーム毎のミーティングや全体でのスキル習得セミナーなどを予定



プログラムに関するお問合せ先

「なごや学生社会課題解決プログラム」事務局
メール: cue@mitemo.co.jp

事業全体に関するお問合せ先

名古屋市長務局総合調整課
電話: 052-972-2217 メール: gakuseitown@somu.city.nagoya.lg.jp